

北海道は本格的な冬の到来を迎えました。

山下先生、水野先生 ペアレンツキャンプの皆様
いかがお過ごしでしょうか。おかげさまで我が家の
子供達は元気に登校しております。

娘は当時小学校3年生。3年生になりゴールデン
ウィークに入る前頃から〇〇ちゃんか私と話ししてくれない...
と毎日不安がり学校を行き渋る事が多くなってきました。
学校が怖い、給食がイヤ、毎朝泣いて叫んでいました。
同時期に中学生になったばかりの長男も「学校へ
行きたくない...」と口にするようになり... 私はどうした
らいいのか分からず、不安だけが膨らんでいきました。

インターネットでペアレンツキャンプを知り、私の中でここしかないと思
い、すぐにメールをさせて頂きました。家庭教育支援が
開始し、返却されたシートを見て、ここで初めて自分の言て
きた事、書きた事が、とれたけ子供の経験や勇気をくじ
いてしまっていた事が... 当時の私は無我無中で、山下先生
に教えていたたいた所を、こなしていくのが、精一杯でした。

そして自分がなせなく、子供への申し訳なさを、自分を責める毎日で、何度もくやし涙を流す日々でした。

しかし、本当に辛いのは子供達... 親が学んで変わり、どうする事で子供も変わる... 先生の言葉を言い、日々続けていくと、少しずつ子供達に変化がみられました。

これは私の勇気になり、子供達が、自分の力で、1つ1つ乗り越えているという実感になっていきました。

当時の娘は、2階に一人で行けない... 歯みがきの仕上げを親がしていた為、はじめからさいごまで一人でできない...

トイレも一人で行けない... 宿題や作文を、どうやって書いていいかわからず、毎日「お母さん」と聞いてくる...

どうさせてしまったのは親である私でした。この事に気づいた時のショックは、大きいものでした。今、私が変わらなければ、この子は、一人で、何にもできなく、なってしまう...

どう思い、1日1日を根気強く続けました。

はじめは、反発も出ました。「どうしてやってくれないの」

「どうしておしえてくれないの」と... 正直、辛い事も

ありました。確実に子供は、変わっていきました。

我家は主人と一緒に家庭教育を学ぶ事ができて
いません...。私一人で対応を変える事では、できませんでした。
いつも不慣れた気持ちの中、支えて下さったのは山下先生の
存在でした。私が冷静に考えられず言葉がでてこない
時は焦ってしまい、どうしてよいかわからない時も先生は
私に自信をつけさせてくださり、その時々、対応の仕方
な心をいつも丁寧にアドバイスしてくださり、何度救って
くださった事でしょう。そして大切な事にも気づかせて
いただきました。日常の中のあたり前に思っていた事が
とんだに幸せな事を...。朝、自分で起きてくる... 朝の挨拶
をしってくれる... 朝食を食べてくれる... 食器を下げてくれる...
学校の準備をし "いってきます" の声かきける...
日々の中での幸せに気づかせてもらえました。
家庭教育の中から私は沢山の事を学ばせて
いただきました。成長していく子供達に感謝の心
を持って笑顔で送り出す事... これもひとえに山下先生
はじめ、水野先生、ペアレンツキャンプの皆様のおかげと
心から感謝しております。

学んだ事をさらに 進化させつつ子供と自分も
成長していきます。

本当に 本当に ありがとうございます。

H27. 11. 27

